

ただ じゅきゅう
正しく受給
するために

まちだし
町田市

せいかつえんごか
生活援護課

とど で
届け出てほしいこと <あてはまったらできるだけ早く>

1 仕事^{しごと}で給与^{きゅうよ}をもらったこと

2 仕事^{しごと}以外^{いがい}で収入^{しゅうにゅう}があったこと

3 資産^{しさん}を持ったこと・手放^もした^てこと

4 世帯^{せたい}の状況^{じょうきょう}に変化^{へんか}があったこと

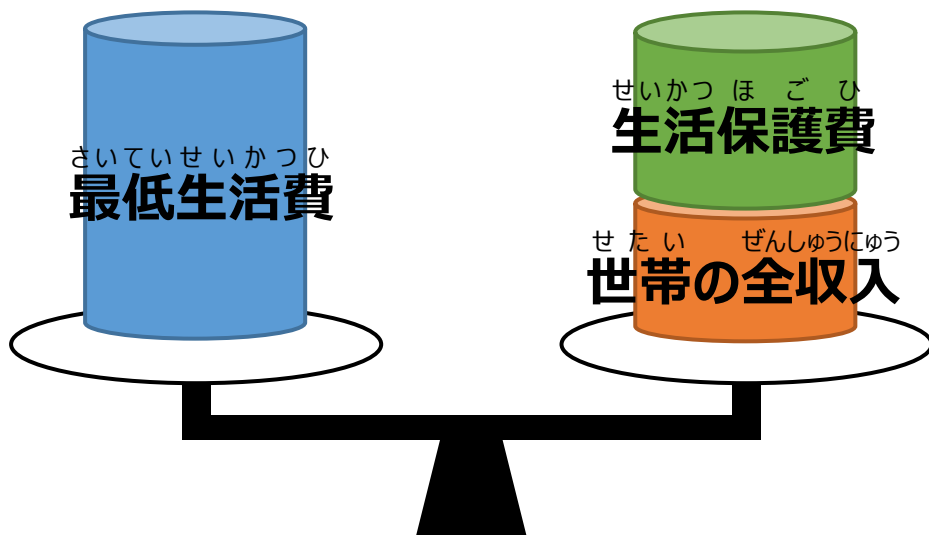
ただ しんこく よ
正しく申告すると、良いことがあります！

しゅうにゅう ただ しんこく つか かね おお
収入を正しく申告すると、使えるお金が多くなることがあります。

しんこく ばあい せいかつ ほ ご ひ
申告をしなかった場合は、生活保護費をもらいすぎることに
なるため、お支払いした生活保護費^{せいかつ ほ ご ひ}を返^{かえ}していただくこと
になります。

生活保護費の計算のしかた

最低生活費と世帯の全収入とを比較して、足りない分だけをお支払いします。



例えば・・・

障がいのない35歳、ひとり暮らし、
家賃50,000円

仕送り収入が月に30,000円ある場合は、

生活扶助 79,230円	住宅扶助 50,000円
-----------------	-----------------

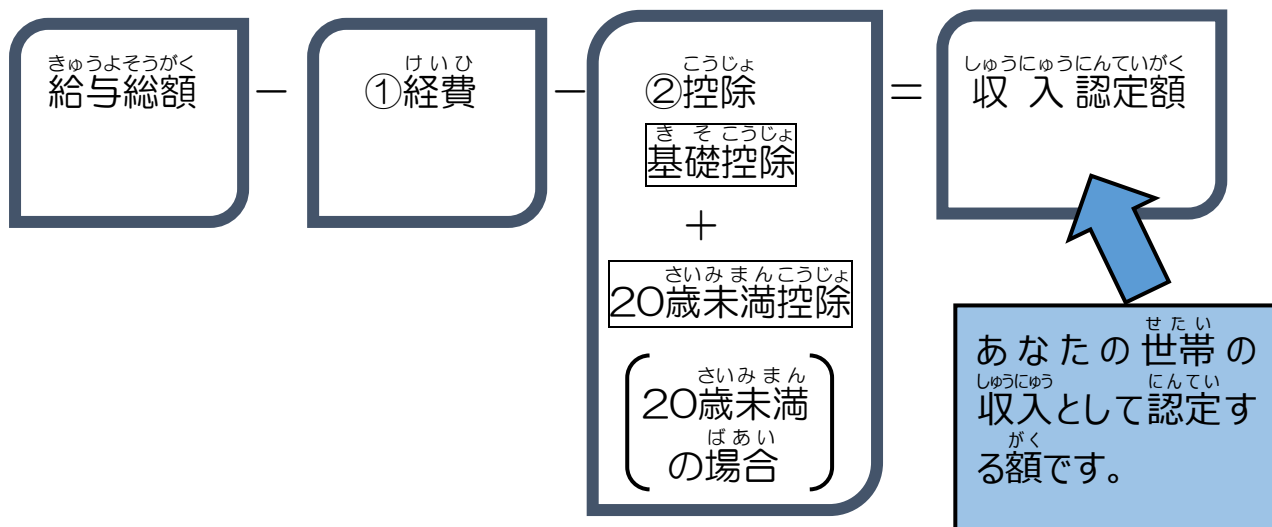
最低生活費＝129,230円

仕送り 30,000円	足りない分 99,230円
----------------	------------------

生活保護費
99,230円

足りない分の99,230円を
生活保護費としてお支払いします。

収入として認定する額（給与の場合）



- ① 経費…交通費、所得税、社会保険料など
 ② 控除…働くのに必要なお金（通勤服や靴などを買うお金）が手元に残るように、基礎控除、20歳未満控除などがあります。

例えば・・・

経費を引いたあとの給与が月に 100,000円ある場合は、

経費を引いたあとの給与 100,000 円	
控除 23,600 円	収入認定額 76,400 円

控除の 23,600円を引いて、

収入認定額は 76,400円。

せいかつふじょ 生活扶助 79,230 円	じゅうたくふじょ 住宅扶助 50,000 円
しゅうにゅうにんていがく 収入認定額 76,400 円	た ぶん 足りない分 52,830 円

さいていせいかつひ えん
最低生活費＝129,230円

せいかつほ ご ひ
生活保護費
52,830 円

た ぶん えん
足りない分の 52,830円を
せいかつほ ご ひ しはら
生活保護費としてお支払いします。

じっさい せいかつひ つか かね
実際に生活費として使えるお金は、

けいひ ひ きゅうよ 経費を引いたあとの給与 100,000 円	せいかつほ ご ひ 生活保護費 52,830 円
--	--------------------------------

こうじょ ぶん
控除の分だけ
とく
得をする！

えん えん えん
100,000円 + 52,830円 = 152,830円 ですから、
さいていせいかつひ えんつか かね おお
最低生活費より 23,600円使えるお金が多くなります。

ただ しんこく せいかつほ ご ひ おお ばあい しはら
正しく申告せず生活保護費を多くもらいすぎていた場合は、お支払いした
せいかつほ ご ひ かえ ばあい き そこうじょ てきよう
生活保護費を返していただきます。この場合、基礎控除を適用することができ
ないため、返していただく額は 76,400円ではなく、100,000円となります。

ただ しんこく つか かね おお
つまり…正しく申告すると、使えるお金が多くなる
ただ しんこく かえ かね おお
正しく申告しないと、返すお金が多くなる
ということです。

しんこく
申告しないと
そん
損をする！

1 仕事で給与をもらったことを届け出る

仕事で給与をもらったときは、金額の確認ができる書類（給与明細など）を、生活援護課に提出してください。

例

●給与、アルバイト収入、ボーナス

●経営している事業、保険外交員などの営業収入

●タレント活動、モデル活動などの芸能収入

注意

未成年者（0～17歳）の収入も申告が必要です。特に、高校生の収入は申告を忘れやすいのでご注意ください。

20歳未満の方は、基礎控除のほかに20歳未満控除としてさらに月額11,900円（令和8年8月現在）を控除することができます（一部例外あり）。

さらに、高校生の収入の場合は、働き始めるときに申請すれば、

①授業料の不足分、②修学旅行費、③部活動費などに必要な額を、収入から除くことができます。

2 仕事以外で収入があったことを届け出る

仕事以外で収入があったときも、金額の確認ができる書類を生活援護課に提出してください。

れい
例

ねんきん おんきゅう
●年金、恩給など

じどうかんれん てあて しょう かんれん てあて
●児童関連の手当、障がい関連の手当など

せいめいほけん きゅうふ かいやくへんれいきん
●生命保険からの給付、解約返戻金など

かさい こうつうじ こ りこん ほしょうきん いしやりよう
●火災、交通事故、離婚の補償金、慰謝料など

そうぞく しゅうにゅう しゅっさん しゅうにゅう そうさい しぼう しゅうにゅう
●相続による収入、出産による収入、葬祭・死亡による収入など

しききん もど きん こくみんけんこうほけんぜい かんぶきん
●敷金の戻り金、国民健康保険税の還付金など

しおく いわ きん しゃっきん
●仕送り、お祝い金、借金など

ぶっぴんはんばい うりあげ こうこく しゅうにゅう
●物品販売の売上、インターネット広告による収入など

3 しさん も てばな とど で 資産を持ったこと、手放したことを届け出る

しさん も しさん ばいきやく てばな
資産を持ったとき、資産を売却するなどして手放したと
きは、しさん しゅるい きんがく かくにん しゅるい せいかつえん ごとか
資産の種類や金額の確認ができる書類を、生活援護課
ていしゅつ げんそく ほゆう みと
に提出してください。（原則として保有は認めないため、
ばいきやく かね か
売却するなどしてお金に換えていただきます。）

れい
例

とち いえ ふどうさん
●土地や家などの不動産

かぶけん しゅっしきん きんゆうしさん
●株券、出資金などの金融資産

せいめいほけん がくしほけん そうさいごじょかい つみたてきん
●生命保険、学資保険、葬祭互助会への積立金など

じどうしゃ げんどうきつ じてんしゃ
●自動車、オートバイ、原動機付き自転車など

こうか ききんぞく こつとうひん
●高価な貴金属、骨董品など

しゅうにゅう え けんり ちよさくけん はんけん とつきよ
●収入を得られる権利（著作権、著作権、特許）など

4 世帯の状況に変化があったことを届け出る

世帯の人数が増えるとき、減るときや、引越して住所が変わるときなどは、必ず生活援護課に届け出てください。

例

●世帯の者の転出・転入、家族ではない者との同居・別居

●世帯の者の入院・退院、特別養護老人ホームなどの入所・退所、出産

●世帯の者の出生、死亡

●自己破産手続の開始、終了

●障害者手帳の取得、等級の変更

●世帯の者の就職・離職、就学・退学、結婚・離婚、氏・名の変更

* * * * *

不正受給とは？

不正受給とは？

生活保護を受けている間は、あなたの世帯の収入や世帯員の状況を生活援護課に速やかに正しく届け出なければなりません。

これらを正しく届け出なかったり、その他不正な手段（うその申請など）を使ったりして生活保護費を受け取ることを「不正受給」といいます。

ふ せ い じ ゅ き ゅ う

不正受給に対しては

ふ せ い じ ゅ き ゅ う お こ な 不正受給を行ったときは、不正に得たお金 せ い か つ え ん ご か かね を生活援護課
に返すことになるほか、不正に得たお金 せ い かね え かり の 4 割 にあたる額を
う わ の か え 上乗せして返さなくてはならない場合があります。

また、金額 金 ぐ ん ぐ に か か わ ら ず、警察 け い さ つ くに 告訴 こ う そ することがあります。

ふ せ い じ ゅ き ゅ う れ い

不正受給の例

れ い
例

● 働 いた ら し ゅ う に ゅ う 収入をもらったが、生活援護課に届け出 せ い か つ え ん ご か と ど で なかった。

● 年 金 や 手 当 を も ら っ た が、生活援護課に届け出 せ い か つ え ん ご か と ど で なかった。

● い ら な い 服 を 売 っ て お 金 を も ら っ た が、申告 せ い け ん じ ゅ 申告しなかった。

● 生活援護課に届け出 せ い か つ え ん ご か と ど で て い な い 人 と いっしょ せ い か つ 生活していた。

せ い か つ え ん ご か ま い と し か ぜ い じ ゅ う ほう か い し ゃ ね ん き ん し は ら い し ゃ し
生活援護課では、毎年、課税情報（会社や年金の支払者などが市
やく し ょ て い し ゅ つ き ゅ う よ ね ん き ん じ ゅ う ほう し ら せ い か つ
役所に提出している給与や年金などの情報）を調べ、生活
え ん ご か だ し ゅ う に ゅ う し ん こ く ま ち が し ん こ く も
援護課に出された収入申告に間違いがないか、申告漏れがない
か かく に ん も っ と お お ふ せ い じ ゅ き ゅ う き ゅ う よ む し ん こ く
かを確認しています。最も多い不正受給は、給与の無申告です。

おわりに

生活保護は、皆さんの健康で文化的な生活を守るための制度です。不正受給にならないよう、正しい申告を心がけてください。わからないことがあれば、担当ケースワーカーに遠慮なくお尋ねください。

この冊子は、1,000部作成し、1部あたりの単価は71円です（職員人件費を含みます。）。

《 2026年8月改訂 》